日本工学院専門学校	開講年度	2019年度	科目名	ヴォイス（ワークショップⅠ）	
科目基礎情報					
開設学科	声優・演劇科	コース名		開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	60時間
単位数	2単位			授業形態	実習
教科書/教材	適宜、配布する				
担当教員情報					
担当教員	箱田好子	実務経験の有無・職種	有・俳優		
学習目的					
俳優として、声が出るしくみを理解し、正しいイメージ付けをする。 演技や自己PRなど、あらゆる場面において、エネルギーのある適切な声が出せるようになる。 喉を傷めない発声方法を身に付け、プロとして自分の声に責任を持つ自覚を育てる。また、そうできるようにする。 相手に言葉を伝えることを実践し、言葉を扱うプロとしての最低限の言葉の技術を身に付ける。					
到達目標					
声のしくみを理解し、正しいイメージと意識を持つ。 深い呼吸（腹式呼吸）を身に付け、息の支えを使って、喉を楽にしたまま息をたくさん出せるようになる。 深い響きを身に付け、母音が開放される感覚を身に付ける。 自分の声を体と繋げて捉え、身体の癖をあばき、修正できるようにする。 喉を楽にして、相手に伝えるための、声量・エネルギーのある声で表現できるようになる。					
教育方法等					
授業概要	前半は、ウォーミングアップ～発声練習を行う。体を緩めること、呼吸を深めること（腹式呼吸）、息の支えを作ること、響きを深めること、息と母音を開放すること、などを毎回繰り返して練習する中で習得する。 後半は、新しい知識・技術の習得のためにテキストを使用し実践する。 いずれも、ペアもしくはグループでのワークを中心に行う。				
注意点	授業の内容は毎回の積み重ねなので、必ず出席すること。欠席した場合は、授業内容をクラスメイトに聞いて復習してから参加すること。毎回、復習や予習など、具体的な課題・宿題を与えるので、各自クリアしてくること。 動きやすい服装で参加すること。（ジーンズ、ホットパンツなどはNG） 授業時数の4分3以上出席しない者は定期試験を受験することができない				
評価方法	種別	割合	備 考		
	平常点	70%	授業の参加態度、発言の積極性などから総合的に判断する		
	試験	30%	課題ごとの発表（下記の色付きの回）の成果で判断する		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	体を開く・呼吸を深める	体が緩まる・開放される感覚を掴む。深い呼吸の知識を得る			
2回	息の支えと通り道を見つける	腹式呼吸をマスターし、息の支えと通り道を見つけ強化する			
3回	響きを深める	共鳴と共振について学び、響きを増やす			
4回	発音・構音（滑舌）	日本語の構音について学び、母音を開放する			
5回	体と繋げて表現する	グループで簡単な詩を、動きを入れながら読む。それを各グループで発表する			
6回	鼻濁音と音の抑揚・フレージング①	日本語の抑揚と鼻濁音について学び、文章で応用できるようになる			
7回	鼻濁音と音の抑揚・フレージング②	詩の朗読で実践する			
8回	語尾まで相手に伝える（朗読）	語尾まで声にすること、相手に伝えることを学び、できるようにする			
9回	発表	各自、詩の朗読			
10回	母音の身体性と語感	詩「あいうえお」を使い、日本語の身体性についての感性を深める			
11回	相手を見る、身体を感じる	ペアワークで、詩「あいうえお」を読む			
12回	夏休みの取り戻し	基本の呼吸～響きを総復習し、エネルギーのある声で朗読する			
13回	前期のまとめ	前期で学んだことを総復習し、詩の朗読の実践で生かす			
14回	発表	各自、詩の発表			
15回	発表②	各自、詩の発表			